

ますはら

「以前からしていたように」

「ダニエルは、文書が署名されたことを知って、自分の家に帰った。彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かって開かれていた。彼は以前からしていたように、その日も三度、ひざまずき、祈り、自分の神に感謝した。」
(ダニエル書 第6章11節・旧約聖書1371頁)

はじめに

南ユダ王国がバビロンに征服された直後、国家の中枢を担っていた者たちがバビロンに強制移住させられます。将来を嘱望されていた青年ダニエルも含まれていました。バビロンでも優秀さが認められ、三年間の訓練を受けた後、ネブカドネツアル王に仕えることとなります。

ただ、ダニエルはバビロンにおもねったわけではなく、自分の信仰をはっきりと表明していました。そのため、様々な災禍に遭うのですが、その都度、奇跡が起こり、守られていくのです。王や周囲の者たちはそれを見て驚き、神を畏れ敬うこととなります。私たちも、信仰を維持することが難しいような時代にあっても、ダニエルのように用いられていく、その秘訣を身につけていくべきです。

神に祈る人

ネブカドネツアルの夢を解けなければ、バビロンの賢者たちが皆殺しになるとの危機に、ダニエルは友人たちと共に祈りました。そして、見事に神が答えてくださり、危機を脱しました。

今日の箇所は、重用されるダニエルをやっかん者たちが「今から三十日の間、王以外を拝んだ者はライオンの穴に投げ込まれる」との法律を作り、合法的にダニエルを亡き者にしようと企むことから始まります。

ダニエルは神に祈ることをやめないと知っていたからできた法律です。まずそこに証しがあります。あの人用いられているのは、神に祈っているからだと周知させるほどの信仰生活

を送っていたのです。私たちは、周囲の人から、「神に祈ることで祝福されている、成功している」と認識させたら、どれだけの証しになるでしょうか。私たちはそれに倣いたいと思います。そのために心がけることがあります。

ためらわず祈る

ダニエルは法律が発布されたことを聞いたのにもかかわらず、祈りました。普通は、迷う場面ですが、彼はためいませんでした。それは、窓を開けていたことでもわかります。私たちが動揺するようなことがあったとしても、ためらわずに神に祈るのです。ほかの選択はありません。それは、日常的な出来事の中でも、取るべき行動であることを知るべきです。主イエスも「いつものように」(ルカ 22:39) 祈っていました。

三度の祈り

三度祈るとは、日に三度と理解して良いと思いますが、もちろん、常に祈りの姿勢、つまり心が神に向かっている状態であったわけです。どんな祈りをしていたかは第9章をみれば良いと思いますが、自分のことだけではなく、国のため、さまざまな執り成しも含まれていたと思われます。私たちは「以前からしていたように」この祈りの姿勢を貫くべきです。それこそがこの時代にあって、自分を生かす秘訣です。そして、今の時代、このようなクリスチャンの証しが求められているのです。(テサロニケー 5:16～18)

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「ダニエルは、文書が署名されたことを知って、自分の家に帰った。彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かって開かれていた。彼は以前からしていたように、その日も三度、ひざまずき、祈り、自分の神に感謝した。」(ダニエル書 2:20～23)
「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことでも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて 神があなたがたに望んでおられることです。」(テサロニケ一 5:16～18)



神さま、私は様々な出来事が起こった時、目

の前のことに対処しようと思ってしまい、祈ることを忘れてしまいます。ダニエルは、どのようなことがあっても、まず祈っていたことを知りました。それは、毎日続けられており、それを周囲の人が知っているほど徹底していたのには驚きました。私も「以前からしていたように」と言えるような、祈りの習慣を身につけたいと思います。そして、常に神さまに心を向け、神さまからの恵みと力、そして知恵を得て、毎日を勝利していきたいと思います。どうぞ私を強めてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (61) 第3章23節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「そうして、あなたは安らかに道を歩み 足がつまずくこともない。」

◎口語訳 「こうして、あなたは安らかに自分の道を行き、あなたの足はつまずくことがない。」

◎新改訳 「こうして、あなたは安らかに自分の道を歩み、あなたの足はつまずかない。」

「つまずかない」

あまり整備されていない山道を歩くときには、平坦ではありませんから、よく見ていないとつまずいてしまいます。ちょっとした切り株に足を取られたり、遊び石を踏んでしまい、思わぬ事故を引き起こす危険もあります。

ある山岳家が話していたのですが、世界的な女性アルピニストが、初心者でも登れる日本の山で滑落死したとき、その父親が「なんでこんな山で死んだんだ」とつぶやいたそうです。そのとき、その人は「お父さん、『こんな山』はないんです。どの山も危険がはらんでいるんです」と言ったといえます。

まさに、私たちの歩む道は山道でなく、舗装された真っ平らな道であったとしても、危険と隣り合わせで、思わぬことでつまずき、たちまちに危機的な状況に陥るのです。

ここに使われている「安らかに」は、多くの

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

場合、「安らかにこの地に住む」として、セットになった言葉の中で使われます。この23節の言葉と深く関連する聖句に「私の掟を行い、私の法を守りなさい。そうすれば安らかにこの地に住むことができる」(レビ 25:18)があります。

私たちがいくらがんばっても、いくら注意深く歩んでも、つまずきます。しかし、神を畏れ、その知恵に生きるなら、安心して道を歩むことができます。そしてこの言葉が指し示しているように、「この地」つまり、主イエスが開かれた神の国に住まう者とされていくのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ヨシュア記第8章26節「ヨシュアは、アイの住民を滅ぼし尽くすまで、投げ槍を差し伸べた手を元に戻さなかった。」◆旧約聖書は歴史を語りながら、私たちの信仰の姿を教えている。この出来事は皆殺しを肯定しているのではない。神の約束を得るために、私たちの中にある誘惑に陥るような原因、ありとあらゆる罪をすべて滅ぼし尽くすようにとの教えである。少しでも神の前にはずべき罪があるとすれば、そこから水が漏れ、大穴があくように、自分の信仰が崩壊してしまう。主の前に祈り、きよめていただこう。

●賛美 / 332 ●祈祷課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

ヨシュア記第9章14～15節「人々は彼らの食料の一部を受け取ったが、主の指示を求めることはしなかった。ヨシュアは彼らと和平を結び、彼らの命を保障する契約を結んだ。会衆の指導者たちも彼らに誓った。」◆ヨシュアたちの大失敗である。ギブオン人は自分たちの身を守るべく、ヨシュアたちを謀った。ヨシュアたちは契約した後で、だまされたことを知ったが、律法により、いかなる場合でも契約は厳守しなければならなかったのだ。ギブオン人を追い出すことができなくなるのだ。この世の力にだまされないよう、常に主の指図、御心を問う必要がある。

●賛美 / 333 ●祈祷課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ヨシュア記第10章14節「この日のように、主が人の声を聞き入れられたことは、後にも先にもなかった。主がイスラエルのために戦われたからである。」◆ギブオンとの平和条約締結を聞いたエルサレムの王(当時はアモリ人の支配地)は同族の4王と連合を組み、ギブオンを攻めた。ギブオン救援に動いたヨシュアに対し、主は勝利の約束を与えた(8)とあり、天からの大きな石(雹)を降らせ、また闇にならないように太陽をとどめた。神は、私たちに勝利を与えるため、さまざまな出来事をもって私たちの敵を追い詰めてくださるのだ。

●賛美 / 334 ●祈祷課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ヨシヤ記第11章8節「主は彼らをイスラエルの手に渡されたので、イスラエルは…一人残らず討った。」◆ヨシヤ記の前半は戦いが続く、エリコの攻略の時はただ御言葉の通りにしたところ、城壁が崩れた。アイでは、御言葉に不忠実だったことで敗れる経験もした。とにかく、目の前にある状況には関係なく、御言葉に従っていけば、勝つのだという信仰体験をさせていったのだ。ここでは「馬も戦車も非常に多い」大軍を見たが、その経験を信じ、勇気を持って戦いに出ることができた。私たちもこのように、信仰の実績を作っていくことだ。

●賛美／335 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ヨシヤ記第12章7節「ヨシヤとイスラエルの人々は、ヨルダン川の西側をも討った。…その地の王たちは次のとおりである。」◆私たちに忘れてはならないことがある。それは神の恵みを顧み、数え、感謝をすることである。詩編にも頻繁に出てくるが、彼らはことあるごとに「私たちの神はエジプトから脱出させてくださった」と賛美している。自分が神の民であることを思い起こし、どのような恵みを与えてくれたのかを覚える事が何よりも重要だったからだ。ヨシヤたちは与えられた勝利を思い起こし、明日への一歩の力としたのである。

●賛美／336 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ヨシヤ記第13章1節「ヨシヤは多くの日を重ねて年を取った。主は彼に言われた。『あなたは多くの日を重ねて年を取ったが、占領すべき土地はたくさん残っている。』」◆どの教団も牧師の定年制を採用するようになった。ただ、それは制度の問題だけであって、召された者は、生涯「召された召し」に従い、牧会者でなくなっても、伝道者として全うすべきだと考える。同様に、神に救われた者たちは、それぞれの召しをいただいている。自分の使命を最後までまっとうする思いをわすれてはならない。神は、たとえベッドに横たわっていても、その人を用いられる。

●賛美／337 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ヨシヤ記第14章11節「今日もなお、モーセが私を遣わした日のように健やかです。戦いのためであれ、日常の務めであれ、今の私の力は当時と同じです。」◆カレブが40歳の時、約束の地に偵察にいった。他の者は「入れない」と言ったが、ヨシヤとカレブは「私たちは勝つことができます」と報告した。彼は、今もなお、その日のように健やかだと言っている。85歳でも、自分の目標がはっきりしていたからである。「若い」とは、年齢のそれを言うのではなく、心の有様を言うのだという言葉を残した人がいる。あなたには目標があるが。

●賛美／338 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ヨシュアき 14:1~15】

「カレブのしんこう」

(ヨシュアき 14:14)

エジプトをでて、かみさまが あたえてくださる やくそくのちに むかった イスラエルのひとたちでしたが、ずっと、もんくを いっぱなしてました。シナイさんの ふもとで、かみさまから 10のおきてを あたえられても、なかなかそれに したがうことができずにいました。

あれののたびをつづけて、1ねんはん たったころです。やっと かみさまが あたえてくださると やくそくされた とちの いりぐちまできました。みんなは よろこびましたが、まず 12にんのひとたちが えらばれて ていさつにいったのです。すると、40にちごにかえてきたひとたちから、がっかりするような ほうこくがありました。「あそこには たたかいにつよいひとたちが いるから、わたしたちが そのひとたちとたたかっても かならず まけま

す。だから、とちは すばらしいですが、すむのは あきらめましょう。かみさまが あたえた とちだなんて、うそです」。

でも、そのなかのカレブとヨシュアだけは ちがいました。「かみさまが やくそくされたのです。かならず かつことができ、すむことができます。すすんでいきましょう」。でも、みんなから、「わたしたちを ころさせるつもりか!」と だいはんたいされ、このときは ちがうみちに ひきかえしてしまったのです。

それから45ねんたちました。ヨシュアは リーダーとして いさましくたたかい、やくそくのちを てにいれることができました。そしてカレブも「わたしは としはとりましたが、あのとときと おなじように、げんきです。まだのこされている ばしょがあります。それを たたかって、とっていきます!」と、さいごまで かみさまの やくそくをしんじ、それに したがいました。

わたしたちも、カレブのように かみさまに したがいつづけていきましょう。

●かんがえてみよう

☆カレブはいくつになっていましたか。(ヨシュアき14:10)

☆カレブは モーセが ていさつにつかわしたときと くらべていまの じぶんは どのようになっていると いらいますか。(ヨシュアき14:11)

☆カレブは なぜ そうぞくちを えることが できたのでしょうか。(ヨシュアき14:14)



ななむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

か
れ
ぶ
の
そ
う
ぞ
ち

れ	ち	そ		う		ぶ		く
			く	れ	ぶ	ち		
の	ぶ			ぞ	そ	う	れ	か
ぞ			う		ち	く		
	く		ぞ					
ち				そ				の
う		ぶ	そ		か			ぞ
く		ち	れ		ぞ	そ		
	ぞ	か		く	う	れ	ち	ぶ

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① ししちにさんのい
- ② しゅうななめ
- ③ じへきょう
- ④ えのぶつ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「海外 Wi-Fi」

スマホが欠かせない時代になりました。私たちも検索したり、連絡したり、それから支払いなどできますので、今や日常生活の必需品です。

台北に行く前、調べた所、多くの人たちは旅行期間中に海外でもスマホが使える「海外 Wi-Fi」を持って行っていることがわかりました。私も早速レンタル予約をし、羽田で受け取って台北に向かいました。使ってみますと、本当に便利でした。なんとってもいつも通りに使えます。道に迷っていてもスマホ

で位置検索し、ガイドをしてもらうこともありまし
たし、とにかく不慣れなので、そのたびにスマホを
使って、きりぬけることができました。通訳アプリ
も役に立ちました。

ただ、欠点なのは、Wi-Fi 接続器を常に携帯して
いなければなりません。そこからの電波が届かない
と、途端にスマホが使えなくなるからです。2~3
mくらいでしょうか。なので、家内には、「はぐれた
ら連絡できなくなるぞ。日本に帰れないぞ」と言い
聞かせていたのです。

ところがです。恐れていた「迷子(迷婆)」になっ
たんです。地下鉄に乗る際、ついてきているはずの
家内がいない。いくらホームで待っていても、捜し
てもいない。ほんとうに青ざめました(続く)。

聖書ふれあい街歩き

●シェフェラ

旧約聖書に時々登場するシェフェラは、町の
名前ではなく、地理的用語です。特にユダ部族
の相続地になった場所は、低い丘陵地帯が多
かったのですが、そこを指しています。

地中海沿岸にあるガザやアシュドなどのペ
リシテ人の住んでいる場所から、エルサレム、
ヘブロンなどのいわゆる山地帯に属する町の中
間、ゆるやかに東に向かって高くなっていく丘
陵地帯がシェフェラと呼ばれています。ですか
ら、なだらかな丘陵と谷が交互に連なる地域
なので、比較的農業や牧畜に適していました。
「シェフェラのオリーブといちじく桑の管理は」
(歴代上 27:28)や「荒れ野にやぐらを建て、多
くの水溜めを掘った。彼にはシェフェラや平地
に多くの家畜がいたからである。山地や実り豊
かな地には、農夫やぶどう作りがいた。ウジヤ
が農業を愛したからである。」(歴代下 26:10)と
あるようにです。そのため、ペリシテも度々侵
入していたのです。なにしろ緩衝地帯ですので、
ダビデとゴリアトとの戦いがあった「エラの他
に」(サムエル上 17)もここにあり、常に対峙
していた時機がありました。ですから、単なる
地理的用語以上に、「信仰の戦い」という象徴
的な意味を持つことがあります。

ななめ聖書 先週のこたえ

あ	き	と	る	え	げ	を	こ	の
え	る	を	き	の	こ	げ	と	あ
げ	の	こ	と	を	あ	き	え	る
の	を	げ	え	き	る	と	あ	こ
こ	あ	き	げ	と	の	る	を	え
と	え	る	あ	こ	を	の	げ	き
ね	こ	の	を	げ	え	あ	き	と
き	げ	え	の	あ	と	こ	る	を
を	と	あ	こ	る	き	え	の	げ

- ①しちにんのさいし
- ②ななしゅうめ
- ③じょうへき
- ④つのぶえ



聖霊を受けましたか

アポロがコリントにいたときのことである。パウロは、内陸の地方を通してエフェソに下って来て、何人かの弟子に会い、彼らに、「信仰に入ったとき、聖霊を受けましたか」と言うと、彼らは、「いいえ、聖霊があるということなど、聞いたこともありません」と言った。パウロが、「それでは、どんな洗礼(バプテスマ)を受けたのですか」と言うと、彼らは、「ヨハネの洗礼(バプテスマ)です」と言った。そこで、パウロは言った。「ヨハネは、自分の後から来る方、つまりイエスを信じるようにと、民に告げて、悔い改めの洗礼(バプテスマ)を授けたのです。」人々はこれを聞いて、主イエスの名によって洗礼(バプテスマ)を受けた。パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が降り、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。この人たちは、皆で十二人ほどであった。(使徒言行録19:1~7)



主イエスの洗礼 霊が鳩のように降った

【聖霊を受けたか】

パウロがエフェソに来ました。まずプリスキラとアクィラ夫妻に出会い、アポロの活動の様子についても報告を受けたでしょう。そして、アポロたちが語らなかつた、また解き明かさなかつた真理に気付きました。「聖霊」についてです。

それは、パウロがエフェソにやって来て、最初に弟子たちに問いかけた「信仰に入ったとき、聖霊を受けましたか」で分かります。

さて、この箇所を整理しておきましょう。

パウロは聖霊の存在を知らないと答えた弟子に、「どんな洗礼を受けたのか」と聞きだしています。彼らが「ヨハネの洗礼」だと言うと、「主イエスの名によって洗礼」を授けています。そして手を置くと「聖霊が降った」わけです。ここで、「ヨハネの洗礼」と「主の名による洗礼」が違うこと、そして「聖霊を受ける」と「主イエスの名による洗礼」とが密接に関わっていることがわかります。ここから、パウロが

●「ヨハネの洗礼」は救い主を受け入れるための準備として、神に背を向けていた姿勢を悔い改めたしるしであり、聖霊を受けることはできない。

●「イエスの名による洗礼」はキリストの死と復活による贖いを信じ、それにより罪の赦しと新しい命に生き、キリストと結び合わされたしるしであり、聖霊を受けることができる。

と解釈していたことが分かります。

私たちの信仰生活は、神と共に歩むことで成り立ちます。インマヌエル(神我らと共にいます)です。弟子たちが主イエスと共に歩んだことで、様々な教えを受け、また奇跡を目の当たりにしてきたように、私たちも、目には見えませんが、目

に見えないお姿である聖霊として、共にいてくださることで、弟子たちと同様の恵みに預かることができるわけです。つまり、その恵みを得るためには、主イエスを信じる洗礼が前提となるわけで、だからパウロはエフェソの弟子たちに、まずイエスの名による洗礼を施したのです。

ヨハネの洗礼は罪の意識を促す、いわば旧約時代の律法の役割を担っていたので、キリストが現れたことで、「私が来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。廃止するためではなく、完成するためである」(マタイ5:17)との主イエスの言葉通り、主イエスのわざが優先、有効とされることになります。ですから、私たちの洗礼も「主イエスの名による洗礼」なのです。

このことを洗礼者ヨハネも「その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。『見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。「私の後から一人の人が来られる。その方は私にまさっている。私よりも先におられたからである」と私が言ったのは、この方のことである。私はこの方を知らなかつた。しかし、この方がイスラエルに現れるために、私は、水で洗礼(バプテスマ)を授けに来た。』またヨハネは証しして言った。

『私は、霊が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。私はこの方を知らなかつた。しかし、水で洗礼(バプテスマ)を授けるようにと、私をお遣わしになった方が私に言われた。

「霊が降って、ある人とどまるのを見たら、その人が、聖霊によって洗礼(バプテスマ)を授ける人である。」私はそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証ししたのである。』(ヨハネ1:29~34)と証言しています。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙二5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙一15:51など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

